

第二成田記念病院 入院患者様へ

当院では下記に臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合に、下記問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題	<p>「層別化した回復期脳卒中片麻痺患者の帰結予測」 及び 「当院回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者の帰結予測式の検討」 ＜後ろ向き研究＞</p>
当院の研究責任者	リハビリ室 室長 後藤健一
情報を提供する他の研究機関	無
本研究の概要	<p>当院に入院された脳卒中患者様の入院時の情報（年齢、発症からの日数、麻痺の程度、日常生活動作の自立度等）から当院を退院される時の状態を予測する方法についての研究です。リハビリテーションを受けられる患者様にとって、また提供するスタッフにとっても、回復期リハビリテーション病棟退院時の到達目標はより具体的で妥当性のあることが重要です。そのような目標を設定するには、まず精度の高い帰結（退院時の状態）の予測が必要となります。本研究では過去約9年間に脳卒中で当院に入院された患者様のデータ分析から、退院時FIM（日常生活動作に必要な介助量を数値化した評価スケール）を予測する帰結予測式を作成しました。既に報告されている先行研究との比較を行い、比較的精度の高い予測式であることが確認できました。</p>
調査データの該当期間	2011年4月～2019年12月
研究対象・研究方法	<p>対象は、2011年4月から2019年12月に当院回復期リハビリテーション病棟に入院し退院を確認したテント上病変脳梗塞または脳出血患者様。 年齢、発症からの日数、入院時運動FIM合計点、入院時認知FIM合計点、入院時SIAS-M（麻痺の程度を数値化したもの）の5項目を説明変数とした重回帰分析を行い、予測式から得られた点数（予測値）と実際の点数（実測値）との相関、実測値から予測値を引いた残差を検討しました。 尚、個人情報とは全てデータ化して、個人が特定できないように処理したうえで分析を行いました。</p>

結果の公表	学会や論文で公表します
利益相反	本研究に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	第二成田記念病院 0532-51-5666 (平日 9～17 時) 担当者 後藤健一